経営学科履修細則

Ⅰ　一般的事項

科目履修に関する基本的事項は、学則、経営学部規程、経営学科履修細則、学科共通履修細則及び教職課程・学芸員・社会教育主事の資格取得に関する規程等に掲げられている。これらを熟読の上、次の各号や時間割作成の手引き・シラバス等を参考にして、履修科目を決定すること。

（１）同一時限に同時に開講されている科目は、重複して履修することができない。

（２）授業科目のうち、Ａ、Ｂ、Ｃ等の区別のあるものは、そのいずれか一つを選択し、履修することができる。ただし、履修する科目によっては、あらかじめ受講するクラスを指定する場合がある。

（３）各学期の履修上限単位数は、追手門学院大学履修登録に関する取扱基準に定める。ただし、成績評価が「認定」として単位付与される科目、資格取得に関する科目等のうち卒業要件とならない科目は、この制限を受けない。

（４）履修登録は、所定の方法にしたがって、指定の期日までに行うこと。

Ⅱ　共通教育科目

１　ファウンデーション科目群

（１）初年次科目

（２）外国言語科目

（Ａ）外国言語のうち、英語は６単位修得しなければならない。

（Ｂ）「総合英語１・２」、「Online English Seminar１・２」は必修とする。

（Ｃ）外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された学生は前２号の規定にかかわらず、外国言語のうち、日本語から４単位以上修得しなければならない。

２　リベラルアーツ・サイエンス科目群

リベラルアーツ・サイエンス科目群から８単位以上修得しなければならない。

３　主体的学び科目群

（１）キャリア形成系科目

（Ａ）外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された学生は、キャリア形成系科目から４単位以上修得しなければならない。

（Ｂ）外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された学生は、「日本事情１・２」を必修とする。

Ⅲ　学科科目

１　主体的研究科目群

（１）演習科目

（Ａ）演習科目のうち、「基礎演習１・２」、「発展演習１・２」、「卒業演習１・２」は必修とする。原則として、指定された年次に履修し、１２単位修得しなければならない。

（Ｂ）「基礎演習１・２」は２年次に希望するクラスにて履修する。クラスの選択は原則として、１年次の秋学期に別に定めるところにより選択・決定し、「発展演習１・２」及び「卒業演習１・２」においても同じクラスを履修するものとする。

（Ｃ）「発展演習１・２」は３年次に履修する。ただし、次の条件を充足しなければならない。

（ａ）「基礎演習１」又は「基礎演習２」のいずれかを修得していること
（ｂ） ２年次終了時点で卒業要件単位数が４４単位以上修得済であること
（D）「卒業演習１・２」は４年次に履修する。ただし、３年次終了時点で次の条件を充足しなければならない。
（ａ）「基礎演習１」及び「基礎演習２」の単位を修得していること
（ｂ）「発展演習１」又は「発展演習２」のいずれかを修得していること
（E）派遣交換留学生や編入学生など特段の事由につき、指定された年次に演習科目を履修できない場合、前各号にかかわらず、特例として各演習科目の履修を認める場合がある。

（２）選択科目
選択科目の履修や単位認定については、別に定めるところによる。なお、大学が認めた留学生のみ履修を認める科目は次のとおりとする。
「国際コミュニケーション論」
「国際事情」
「国際特別演習」
「国際表現演習」

２　学部共通科目群
（１）必修科目
「経営学への招待Ⅰ・Ⅱ」は必修とする。原則として１年次に履修し、８単位修得しなければならない。
（２）学部共通科目
学部共通科目から８単位以上修得しなければならない。

３　専攻科目群
専攻科目群のうち、自専攻（所属している専攻）科目から１８単位以上修得しなければならない。

４　その他
学部共通科目と専攻科目群から合わせて５８単位以上修得しなければならない。